



# にんげん図書館

マイノリティと呼ばれる人生を  
「生きている本」として読んでみませんか？

開催：令和5年**10月21日**(土) 9:00-15:00

会場：高知県立大学 永国寺キャンパス  
(教育研究棟 4階プレゼンテーションコート)

- 申込方法：申込フォーム(右)から事前予約をお願いします。
- 「生きている本」の読み方：1冊30分。最初に本が語り、その後に質問などやりとりができます。  
終了5分前に司書が声掛けにいきます。  
読み終わった後にアンケートのご協力をお願いします。  
「生きている本」は大切に扱ってください。
- 「生きている本」を読む前に同意書にご記入をお願いします。

事前予約  
申し込み  
フォーム



本事業は本研究は、文部科学省科学研究費（課題番号19K02191）の助成を受けて実施しています。そのため、研究へのご協力を依頼する場合があります。また、研究協力へご同意いただいた場合のデータは、個人が特定されない形で、研究報告書やSNS等のソーシャルメディア、論文等で公表することがあります。

主催

公益財団法人北海道精神保健推進協会  
ここりか・プロダクション・いそのさんち・  
高知県立大学 玉利・日本医療大学 橋本

お問い合わせ

高知県立大学 社会福祉学部 玉利  
✉ tamari\_maki@cc.u-kochi.ac.jp

# 貸し出し本 メニュー

クール

① 10:00~10:30

9:00~10:00 本と読者のプチカフェ

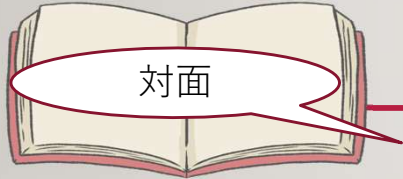
クール

② 11:30~12:00

クール

③ 13:00~13:30

13:45~15:00 読書感想タイム



対面

丸子

①②③  
アメリカで発病し帰国。再び、  
気持ちを外に向けるまで

障害者となり、もちろん受け入れてはいます。しかし、まだまだ型にはあまりたくない！そんな自分です。



小松

①②③  
働いていて楽しい、発病前も今も

発病前も仕事して辛いこともあったが楽しいこともあった。発病後はリハビリを受けて事業所で楽しく仕事をしている。



南部

①②③  
人間50年下天のうちを  
比ぶれば

統合失調症の50歳、男のあまり病気に関係のない人生の話です。



尾崎

①○③  
傷ついた1人の人間が  
癒されるまで

周りの人の出会いや、自助グループの仲間とのふれあいの中で癒されてきたこと。



倉知

①○③  
出会いがあって、今の僕

人とのたくさんのつながりに支えられて、少しずつ成長してきた、そんな僕の30年の出来事。



黒澤

①②③  
ハリウッド・シネマ・  
パラダイス

10歳で発病した私。こころの支えが映画であった。その少年は今・・・



稲田

①②③  
看護師の安心できたひと言

長いようで短いような発症してからの25年。ばかなことをやったなと振り返る。



伊藤

①②○  
どうやら僕はヘンなヤツでも  
いいらしい

生まれた頃から人と違う、わからないから誤解する。そんな周りとの話。



越後

○○③  
双極性、めんどくせえ

そう状態の時体重40キロ台。うつ状態の時70キロ台。これを30年以上。切り替わりのスイッチはどこでしょう。



麻生

①②○  
100%嫌じゃない  
私の統失幻聴体験記

聞くと疲れると思われる精神病の話。「幻の私(交信)」と「私」の誰も信じてくれない世界に、体験を通してあなたを誘います。



本はこちらから  
**事前予約**を  
お願いします。



板垣

①②③  
私の世界は生きている

90億年生きている390以上のキャラクターが日常生活を送っている空想の世界。その世界が自分の生きる支えになっている。



平泉

①○③  
まさかこんなに  
回復するなんて

病気の回復の経過をたどり、今の自分を語ります。



「生きている本」が  
オンラインで  
語ります



申込多数の場合、ご希望に添えない場合があります。